

令和7年度 3年次生 学びのプラン

教科名	国語	単位数 (コマ数)	2単位 (2コマ)	履修年次	3年次	
科目名	発展古典	履修	選択	開講	通年	
教科書	高等学校 古典探究(数研出版)	副教材	三訂版わかる・読める・解けるKey&Point古文単語330 (いいずな書店) 読解をたいせつにする体系古典文法 九訂版(数研出版)			
1 学習の目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めながら、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ・生涯にわたって古典に親しみ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 						
2 学習の方法						
<p>①授業について 授業は週2コマで、講義の他、ペアワーク・グループワークなど適宜実施する。</p> <p>②クラスについて 授業は選択に応じたクラス編成で行い、内容によっては特別教室を使用する。</p> <p>③ノートについて 各自用意すること。板書・メモを各自で記録・整理すること。配布されたプリント類を保管しておくためのファイルを用意しておくこと。</p> <p>④小テストについて 理解の定着を確認するため、適宜実施する。</p> <p>⑤授業の際に必要な物 教科書・ノート・ファイルを毎時間用意する。副教材については別途指示。PC・タブレット等を授業時に使用する。</p>						
3 評価について						
①評価の観点						
知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。					
思考・判断・表現	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。					
主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで古典に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。					
②評価の方法						
観点	材料	定期テスト	小テスト	課題	ワークシート	評価方法
知識・技能		○	○			単元ごとに身に付けなければならない知識や、それを活用して答える技能を、考査等によって評価する。
思考・判断・表現		○		○	○	単元ごとに身に付けなければならない知識や、それを活用して答える技能を、考査等によって評価する。
主体的に学習に取り組む態度				○	○	授業及び課題、ワークシート、グループワーク等における主体的・協働的取り組みを評価する。
4 その他						

5 単元の目標・評価						
単元名	古文 第二章 随筆 『枕草子』					
単元の目標	○作者の機知的な才能、当時の宮廷文化について理解を深める。 ○重要語彙、文法を踏まえて、正確に文意をつかむ。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	講義・グループワーク・ペアワーク・問題演習					
活動内容	2年次までの知識技能を活用し、個で内容を読み取ったのち他者との対話を通じて思考していく					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	助詞や助動詞、敬語、和歌の表現技法について理解し、解釈に生かすことができる。随筆についての知識を深める。		登場人物の行動や心情に注意しながら内容を理解し、この章段の趣旨を捉えることができる。		本文に描かれた人物の心情や行動を読み取り、宮廷における和歌の位置づけや漢詩の受容について理解しようとしている。	
単元名	漢文 第二章 逸話 『世説新語』					
単元の目標	○話の面白さを味わい、登場人物の人物像や生き方について考える。 ○段落ごとの内容をおさえ、話の展開を理解する。 ○重要語彙、句法について理解を深める。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	講義・グループワーク・ペアワーク・問題演習					
活動内容	2年次までの知識技能を活用し、個で内容を読み取ったのち他者との対話を通じて思考していく					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	重要語彙や句法・語法について理解し、解釈に生かすことができる。		登場人物の行動や心情に注意しながら内容を理解し、本文が伝えようとしている趣旨を捉えることができる。		話の面白さを味わい、登場人物の人物像や生き方について考えようとしている。	
単元名	古文 第一部 物語 『源氏物語』					
単元の目標	○当時の風習や、登場人物の考え方に即して文章を読み取る中で、人々のものごとのとらえ方を理解する。 ○重要語彙、文法を踏まえて、正確に文意をつかむ。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	講義・グループワーク・ペアワーク・問題演習					
活動内容	2年次までの知識技能を活用し、個で内容を読み取ったのち他者との対話を通じて思考していく					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	助詞や助動詞、紛らわしい語の識別、敬語、和歌の表現技法について理解し、解釈に生かすことができる。作り物語についての知識を深める。		文章の構成、展開、人々の考え方に共感しながら内容を理解することができる。		本文に至る背景や時代の特徴を踏まえて、登場人物の行動や心情を理解しようとしている。	

単元名	漢文 第二部 文章 『柳河東集』					
単元の目標	○本文の製作時の背景を把握し、作者の主張や生き方を理解する。 ○重要語彙、句法について理解を深める。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	講義・グループワーク・ペアワーク・問題演習					
活動内容	2年次までの知識技能を活用し、個で内容を読み取ったのち他者との対話を通じて思考していく					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	重要語彙や句法・語法について理解し、解釈に生かすことができる。		本文の構成を押さえ、登場人物の心情や主張を理解した上で、作者の製作意図を読み取ることができる。		本文の製作時の背景を踏まえ、作者の主張や生き方を理解しようとしている。	

単元名	古文 第二章 歴史物語 『大鏡』					
単元の目標	○それぞれの人物像を対比しながら読み、そのように描かれた意味を理解する。 ○重要語彙、文法について理解を深める。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	講義・グループワーク・ペアワーク・問題演習					
活動内容	2年次までの知識技能を活用し、個で内容を読み取ったのち他者との対話を通じて思考していく					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	助詞や助動詞、敬語法などについて知識を確かなものにし、解釈に生かすことができる。歴史物語についての知識を深める。		それぞれの人物像を対比しながら読み、そのように描かれた意味を理解することができる。		古文を読む上で必要な古典常識・歴史的背景について理解しようとしている。	

単元名	漢文 第二章 史伝 『史記』					
単元の目標	○中国古代の社会状況を踏まえ、登場人物の心情や意図を考える。 ○重要語句、句法について理解を深める。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	講義・グループワーク・ペアワーク・問題演習					
活動内容	2年次までの知識技能を活用し、個で内容を読み取ったのち他者との対話を通じて思考していく					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	重要語彙や句法・語法について理解し、解釈に生かすことができる。『史記』の史書としての特徴について知識を深めることができる。		登場人物それぞれの立場や心情に注意しながら、場面に沿って内容を的確に理解することができる。		中国古代の社会状況を踏まえ、登場人物の心情や意図を考えようとしている。	

単元名	古文 第二章 評論 『無名抄』					
単元の目標	○それぞれの和歌に対する評価について捉え、理解を深める。 ○重要語彙、文法、和歌について理解を深める。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	講義・グループワーク・ペアワーク・問題演習					
活動内容	2年次までの知識技能を活用し、個で内容を読み取ったのち他者との対話を通じて思考していく					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	助詞や助動詞、紛らわしい語の識別、敬語、和歌の表現技法について理解し、解釈に生かすことができる。		和歌の解釈を含め各文章の発話者や内容を的確に理解することができる。		それぞれの和歌に対する、登場人物の評価の観点について理解しようとしている。	

単元名	古文 第二部 日記文学 『十六夜日記』					
単元の目標	○当時の生活形態を考えながら、作者の心情を読み取る。 ○歌にこめられた作者の思い、また表現技巧や贈答歌の呼応の仕方等について考える。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	講義・グループワーク・ペアワーク・問題演習					
活動内容	2年次までの知識技能を活用し、個で内容を読み取ったのち他者との対話を通じて思考していく					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	助詞や助動詞、敬語、和歌の表現技法や贈答歌の特徴について理解し、解釈に生かすことができる。 日記文学についての知識を深める。		登場人物の心情に注意しながら内容を理解し、和歌に託された思いを捉えることができる。		本文に描かれた人物の心情や行動を理解しようとしている。	

6		年間計画			
学期	月	単元	項目	予定時数	考查
前期	4	○随筆 (枕草子) 二月つごもりごろに ☆実戦問題	・作者の機知的な才能、当時の宮廷文化について理解を深める。 助動詞、敬語、副助詞、終助詞 和歌の修辭、『白氏文集』の受容	5 1	前期中間考查
	5	●逸話 (世説新語) 梁上君子 ☆実戦問題	・話の面白さを味わい、漢時代に受け継がれた思想を読み取る。 二重否定、部分否定、否定	5 1	
	6	○物語 (源氏物語) 小柴垣のもと ☆実戦問題	・当時の風習や、登場人物の考え方に即して文章を読み取る中で、人々のものごとのとらえ方を理解する。 助動詞、敬語、係助詞、和歌の修辭	8 1	
	7	●文章 (唐宋八大家文読本) 捕蛇者説 ☆実戦問題	・本文の製作時の背景を把握し、作者の主張や生き方を理解する。 再読文字、反語形、疑問形、比較形 詠嘆形、仮定形 唐宋八大家、四書五経	8 1	
	8	○歴史物語 (大鏡) 貫之と躬恒 ☆実戦問題	・歴史物語の特徴を掴むとともに和歌と本文の関係性を読み取る。 助動詞、敬語、副助詞、和歌の修辭	6 2	
	9	●史伝 (史記) 廉頗・藺相如 ☆実戦問題	・中国古代の社会状況を踏まえ、登場人物の意図を読み取る。 反語形、使役形、比較形、選択形 限定形、願望形、抑揚形、部分否定	8 1	後期中間考查
	10	○評論 (無名抄) 俊成自讃歌のこと ☆実戦問題	・それぞれの和歌に対する評価について捉え、理解を深める。 助動詞、敬語、呼応の副詞 和歌の修辭	6 5	
	11	○日記文学 (十六夜日記) 鎌倉への出立	・和歌の引用に着目しながら作者の境遇や心情を読み取る。 助動詞、敬語、呼応の副詞 和歌の修辭	2 10	
	後期	12			70
1					
2					
	3				